

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、こんにちは。初夏を感じ  
る季節になりました。さて、紙  
上遍路のかわら版。残すは十九ヶ寺。  
頑張って打ち通しましょう。今月  
も元気に出發です。

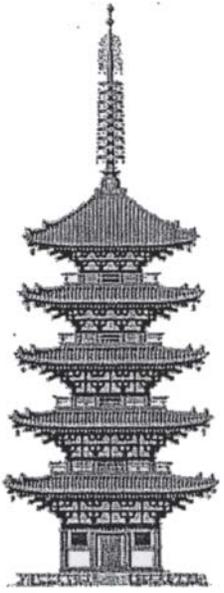
## ★一夜建立の寺

同じ境内にある六十八番、六十  
九番から東北に約四・六キロメー  
トル、前方に五重塔が見えてきま  
す。七十番、七宝山(しっぽうざ  
ん)本山寺(もとやまじ)です。

平城天皇の勅願を受け、お大師  
様が井ノ内村(徳島県)で用材を  
伐採、財田村(香川県)で製材し  
たうえで運搬し、数日で寺を組み  
立てた逸話から一夜建立の寺と言  
われています。

本尊の馬頭観世音菩薩、脇侍の  
阿彌陀如来と薬師如来はお大師様  
自らによる一刀三礼の作。

長宗我部元親による天正の兵火  
の折、軍勢は侵入を拒む住職を斬  
つて堂内に強襲。すると、内陣厨  
子が開き、阿彌陀如来像が血を流  
しているのを見た軍勢は、恐れを



なして退散。  
以来、阿彌陀如来像は太刀(た  
ち)受けの弥陀(みだ)と呼ばれ  
ています。

## ★日本三大霊場

七十番から約十二キロメートル  
標高三百八十二メートルの弥谷山  
(いやだにやま)の中腹に立つの  
が七十一番、剣五山(けんござん)  
弥谷寺(いやだにじ)。

この辺りからお大師様の生誕地、  
善通寺に近くなり、幼少時の逸話  
が伝わっています。

真魚(まお)と称した幼少時に  
籠って学問をした岩窟は獅子の岩  
屋と呼ばれ、大師堂の奥に残って  
います。

開基は行基菩薩。弥谷山の山頂  
から、阿波、土佐、伊予、讃岐、備  
前、備中、備後、安芸の八か国が  
眺望できたことから、行基菩薩が  
東の峰に阿彌陀如来像、西の峰に  
釈迦如来像を安置し、蓮華山(れ  
んげざん)八国寺(やこくじ)と  
命名。三つの峰を擁するため、山  
は三朶(さんだ)の峰とも呼ばれ  
ます。

唐から帰朝したお大師様が参籠  
した折、天から五柄(ごぶり)の  
剣が降りてきたことに因み、山号

寺号を剣五山弥谷寺に改めました。  
下北半島の恐山、国東半島の白  
杵磨崖仏(うすきまがいぶつ)、そ  
して弥谷山は日本三大霊場。弥谷  
寺には弥谷信仰、弥谷参りの風習  
が残っています。



四国八十八ヶ所霊場マップ(七十番から、七十三番)

## ★最古の四国霊場

七十一番から約三キロメートル、  
いよいよお大師様の生誕地である  
善通寺市入り。七十二番は我拝師  
山(がはいしざん)曼荼羅寺。

創建は四国霊場で最古の推古四  
年(五九六年)。お大師様の生家  
である讃岐領主、佐伯氏の氏寺と  
して建立され、当初は世坂寺(よ  
さかじ)と呼ばれました。  
唐から帰朝したお大師様は、亡

母・玉依(たまより)御前の菩提  
を弔うため、長安の青龍寺(恵果  
和尚から密教の正統を授かった寺)  
を模して伽藍を整え、持ち帰った  
両界曼荼羅を奉納して寺号を曼荼  
羅寺に改めました。

その際に植えた松が直径十八メ  
ートル近くに育ちつて不老の松と  
呼ばれていましたが、近年松喰い  
虫に侵され、平成十四年に惜しく  
も伐採。

かつての菅笠を二つ伏せたよう  
な姿であったことから、今では幹  
に笠松大師と刻まれ、鎮座してい  
ます。

平安時代には、西行法師が二年  
間逗留し、西行庵を結びました。

## ★捨身ヶ嶽

七十二番から約〇・五キロメー  
トル、徒歩数分で到着するのが七  
十三番、我拝師山出釈迦寺(しゅ  
つしゃかじ)。

七歳の真魚が衆生救済の請願を  
立てて崖から捨身。すると、紫雲  
とともに蓮華に座した釈迦如来が  
現れ、真魚を抱きとめて救ったと  
いう伝説が残っています。

長じてお大師様がこの地に寺を  
建立。捨身した崖は捨身ヶ嶽と呼  
ばれ、鎖にすがって百メートルの  
断崖を登る山頂の行場となつてお  
り、稚児大師像が建っています。

## ★善通寺

来月は七十四番に続いてお大師  
様の生誕地、七十五番の善通寺。  
乞ご期待。

